



(本社・工場)

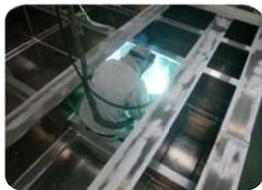
株式会社マエキン

大阪府岬町多奈川

良い製品を・より早く・より正確に



代表取締役
前田満生さん



(溶接作業)

多種・多様な溶接構造物の製作に対応できる技術を生かした溶接構造物の製作では、大型アルミ製溶接構造物の製作では、溶接ヒート、歪取り、製作スピード等を重要視しています。アルミの厚板や特殊な素材の溶接構造物の製作に組み立てる工程は、溶接作業の重要な工程です。

◇「もつくり」のこだわりは？

当社は、昭和五四年に日本軽金属株式会社の工場を譲り受け、注として創業しました。以来、アルミニウム製の溶接構造物の製作・設計・製作・販売を行ってまいりました。

◇御社の歴史を教えてください。

修了生の声(溶接加工科)
溶接加工科 平成31年3月修了
上辻 麻王 さん(37歳)



前職はバスの運転士で、溶接の経験がなかった。入社してからは、溶接の楽しさや、技術を身につける楽しさを実感しました。溶接は、材料をしっかりと溶かして、丈夫な製品を作ることができると感じています。

◇従業員の人材育成は？

人材育成では、「見せて」「説明し」「実際にやらせて」「指導する」の順に、溶接の技術を伝えています。また、溶接の基礎から応用まで、段階的に学習を進め、溶接士の育成に努めています。

溶接は、被覆アーク溶接やTIG溶接など、様々な溶接方法があります。また、溶接の品質を向上させるためには、溶接士の技術向上が重要です。当社は、溶接士の育成に力を入れ、溶接士の技術向上をサポートしています。

修了生の声(溶接加工科)
溶接加工科 平成29年6月修了
南 直希 さん(37歳)



ポリテクセンターに入社してからは、溶接の楽しさや、技術を身につける楽しさを実感しました。溶接は、材料をしっかりと溶かして、丈夫な製品を作ることができると感じています。

溶接については、半自動溶接の資格を取ることができました。今は、金属(鉄・ステンレス・アルミニウム)の溶接をしています。一人前になるには、まだまだです。他の先輩は、製品を見ている目が違います。同じようになれるには、もっと時間がかかります。失敗を乗り越えて、着実に積み重ねて、一日でも早く一人前の溶接工になりたいと思います。

ポリテクセンターで学んだことは、仕事の助けになります。受講している人は、授業をかみしめて、自分なりに工夫して練習・勉強をして、在籍している間に、少しでも自分の自信になるように頑張っています。

ポリテクセンターから採用者は、溶接を勉強しており、意欲が違います。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

自分が携わった製品が、日本全国で活躍しているという、大きな視野を持って取り組んでいることが、実感できます。溶接は、材料の当り感で、溶接の質が違ってきます。溶接士の技術向上が、製品の品質向上につながります。

◇この仕事をを目指す人へ伝えたいことは？

「溶接を学びたい」という志を持っていただくこと、未経験からこの世界に飛び込んでいくというチャレンジングな精神を、この仕事に必要です。溶接は、材料をしっかりと溶かして、丈夫な製品を作ることができると感じています。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

鉄、ステンレス以外にアルミニウムの溶接にも時間をとっていただけたら、即戦力につながっていると思います。また、溶接の現場でも学んでもらえたら、実践の場に入りやすくなると思います。よろしくお願いします。

(令和元年7月取材)